

令和7年度 獨協医科大学公開講座

栃木県民カレッジ連携講座(健康スポーツコース)

共催：壬生町教育委員会／獨協医科大学病院脳卒中・心臓病等総合支援センター

1. 募集定員 各回100名
2. 受講料 無料
3. 会場 本学研修会議棟（肉のふきあげ雅2階）
4. 住所 壬生町大字北小林1075-14
5. 申込方法 FAX（裏面のFAX申込書）または右上のQRコードにてお申込みください。
6. 申込先 獨協医科大学地域共生協創センター FAX 0282-86-1300



1

1回目 10月2日(木)13:30～15:00

第1部

『再生医療最前線』

～手足の血流障害で起こる末梢動脈疾患って知ってますか？～

「狭心症・心筋梗塞」は、心臓の血管が詰まる病気です。一方「末梢動脈疾患」とは、手や足といった四肢の動脈が詰まる病気の総称です。特に手・腕などの上肢の動脈が詰まる場合には、膠原病関連血管炎やパージャール病などがあります。また糖尿病や透析の患者さんに多くみられるのが、下肢の動脈が詰まる「下肢閉塞性動脈硬化症」です。本講演会では、足や手指の傷が治らない重症な血流障害に対する血管治療から最新の再生治療まで幅広く解説いたします。



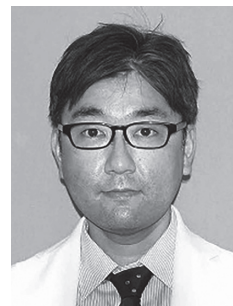
再生医療センター
センター長
佐久間 理 吏

第2部

『再生医療最前線』

～変形性関節症は再生医療でどこまで治せるか？～

変形性関節症は、関節痛の最も多い原因であり、軟骨のすり減りによって痛みや可動域の制限を引き起こします。従来の治療に加え、近年は多血小板血漿（PRP）療法などの再生医療の応用が進み、普及してきています。さらに、膝関節軟骨損傷に対する再生医療である自家培養軟骨移植の応用も期待されています。本講演では、変形性関節症に対する再生医療がどこまで有効か、現状と限界、そして今後の展望について解説いたします。



整形外科
講師
瓜 田 淳

2

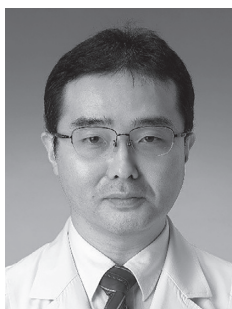
2回目

10月9日(木)13:30～15:00

『新生児医療』

～少し早く生まれてしまった子供たち～

総合周産期母子医療センターの新生児集中治療室（NICU）とはどんなところか？何をしているところなのか？早く生まれてしまった赤ちゃんはどうなるのか？ドラマなどでしか見たことが無い小さな赤ちゃんの世界について講演いたします。早産児・低出生体重児で出生してから退院するまでの話。それからどのように発達していくのか。早く生まれたことにより注意しなければいけないのか。地域の協力などについて話します。



小児科学
講師
渡 部 功 之

3

3回目

10月16日(木)13:30～15:00

『下肢救済最前線』

～いかに足のキズを治すか～

歩行するため、足はキズができやすい部位です。通常であれば治癒するキズが、様々な要因で治らないことがあります。糖尿病や血流障害に伴う潰瘍を原因として下肢切断に至ることがあり、近年増加しています。下肢救済、つまり足を守り、歩行機能を維持することは、生活を守ることに直結します。早期発見、早期治療が重要となります。当科で行っている足を守るための検査、治療を解説いたします。



形成外科学
准教授
梅 川 浩 平

先着順で受付し、定員になり次第締切となります。
受講決定のご連絡は参加券（はがき）の発送をもって代えさせていただきます。

1講座からお申し込みいただけます。

獨協医科大学公開講座 FAX申込書

以下の項目に必要な事項をご記入の上、FAXにて送信してください。

※1世帯につき2名までお申込みいただけます。

①フリガナ		②フリガナ	
①氏 名		②氏 名	
住 所	〒		
電話番号			
メール アドレス	ご記入いただくと、次年度の案内をメールでお送りいたします。 (携帯電話のキャリアメールの場合は「@dokkyomed.ac.jp」が受信できるように設定してください)		
希望 講座	参加を希望する講座に☑を記入してください。(複数申込可) ☐ 10月2日(木) 再生医療最前線 ～手足の血流障害で起こる末梢動脈疾患って知ってますか?～ 再生医療最前線 ～変形性関節症は再生医療でどこまで治せるか?～ ☐ 10月9日(木) 新生児医療 ～少し早く生まれてしまった子供たち～ ☐ 10月16日(木) 下肢救済最前線 ～いかに足のキズを治すか～		
備考			



獨協医科大学 地域共生協創センター

〒321-0293 栃木県下都賀郡壬生町北小林880

FAX番号 0282-86-1300